

みんなで支える

# 在宅療養 シンポジウム

最期まで

おうちで暮らそう

日時：平成27年1月10日（土）13:00~16:00  
会場：ヨコスカ・ベイサイド・ポケット



主催：横須賀市

後援：一般社団法人横須賀市医師会



# プログラム

## 主催者挨拶

### 基調講演 講師

自分の最期は、自分で決める ～穏やかな最期を迎えるために～  
長尾クリニック院長 長尾和宏先生

\*\*\*人生の最期を穏やかに迎えるために、今から考えておくべきことをご一緒に学びましょう\*\*\*

- 1984年 東京医科大学卒業、大阪大学第二内科入局
- 1991年 医学博士（大阪大学）授与、市立芦屋病院内科医長
- 1995年 兵庫県尼崎市で長尾クリニックを開業、現在に至る

日本慢性期医療協会理事、日本ホスピス在宅ケア研究会理事、日本尊厳死協会副理事長、  
全国在宅療養支援診療所連絡会理事、関西国際大学客員教授、東京医科大学客員教授（高齢総合医学講座）

医学博士、日本消化器病学会専門医、日本消化器内視鏡学会専門医・指導医、日本在宅医学会専門医、日本禁煙学会専門医、  
日本内科学会認定医、労働衛生コンサルタント

『平穏死・10の条件』（ブックマン社）、『抗がん剤・10のやめどき』（ブックマン社）、  
『胃ろうという選択、しない選択』（セブン&アイ出版）、『平穏死という親孝行』（アーススターエンターテイメント）、  
『がんの花道』（小学館）、『家族が選んだ平穏死』（祥伝社）、『医療否定本に殺されないための48の真実』（扶桑社）、  
『ばあちゃん、介護施設を間違えたらもっとボケるで!』（ブックマン社）、『平穏死できる人、できない人』（PHP研究所）、  
『抗がん剤が効く人、効かない人』（PHP研究所）、『大病院信仰、どこまで続けますか』（主婦の友社）  
『病院でも家でも満足して大往生する101ノコツ』（朝日新聞出版社） など著作多数







## パネルディスカッション

## 「在宅医療と病院医療」

パネリスト

野村良彦先生 野村内科クリニック院長

大友 宣先生 衣笠病院内科医長・湘南国際村クリニック所長

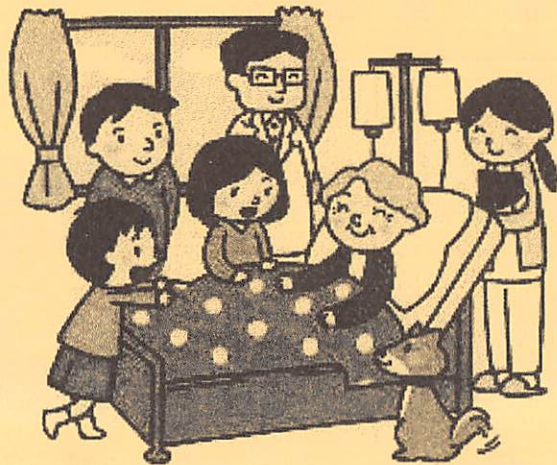
豊田茂雄先生 横須賀共済病院診療部長・地域連携センター長

コメンテーター

長尾和宏先生 長尾クリニック院長

進行

川名理恵子 横須賀市健康部地域医療推進課



自宅で受ける医療と病院で受ける医療はどのように違うのでしょうか。

実際に医療に携わる先生方のお話を伺いながら、在宅医療と病院医療の違いについて一緒に学んでまいりたいと思います。

そして、ご自分の人生の最期の医療をどうすべきか、考える機会にさせていただければ幸いです。



# パネリストのご紹介

野村良彦先生 野村内科クリニック院長 昭和49年 日本大学医学部卒業



横須賀市民病院呼吸器科長を経て、平成7年 横須賀市林に野村内科クリニックを開業。かかりつけ医として地域医療を目指し、同時に在宅医療も手掛けられた。「横須賀の赤ひげ先生」として患者さんから熱い信頼を寄せられている。

平成25年3月 日本医師会第2回「赤ひげ大賞」受賞。

横須賀市在宅療養連携会議委員、神奈川県サッカー協会医学委員、横須賀シニアサッカークラブ会長

日本内科学会認定内科医、日本臨床内科医会認定医、日本プライマリケア学会認定医、日本医師会認定健康スポーツ医、

日本在宅ホスピス協会世話人、日本在宅医学会、日本死の臨床研究会

大友宣先生 社会福祉法人日本医療伝道会衣笠病院 内科医長  
同 湘南国際村クリニック所長

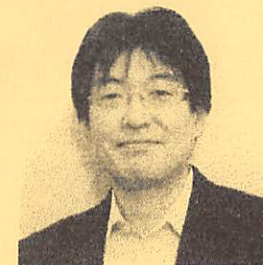
信州大学理学部卒、平成14年 北海道大学医学部卒

聖隷三方原病院、横須賀市立うわまち病院を経て現職

湘南国際村クリニックの在宅医として横須賀市内で訪問診療を行うとともに、在宅医療・介護連携推進に尽力されている。

公益社団法人 日本キリスト教海外医療協力会(JOCS)常務理事、横須賀市在宅療養連携会議 連携手法検討専門部会長

日本在宅医学会認定専門医、日本内科学会認定内科医、プライマリ・ケア連合学会認定指導医



豊田茂雄先生 横須賀共済病院 診療部長  
同 地域連携センター長

昭和63年 旭川医科大学卒、東京医科歯科大学大学院卒。

東京医科歯科大学第一内科、日立総合病院、都立駒込病院を経て、平成6年より横須賀共済病院血液内科勤務。地域連携センター長として、病診・病病連携、在宅療養を推進し、横須賀・三浦地域の地域包括ケアシステム構築に尽力されている。

医学博士、日本血液学会専門医・指導医、日本内科学会総合内科専門医、日本温泉気候物理医学会温泉療法医、

日本がん治療認定医機構がん治療認定医

